

公益社団法人日本包装技術協会

事業の一覧

事業区分	事業の内容
公益目的事業	<p>＜講座、セミナー、育成事業＞ 包装に関する知識の習得と技術の向上を図ることを目的とする事業 （管理士講座、アカデミー、セミナー、コース、研究会、フォーラム、研究大会、懇話会） ＊支部で行っている事業はすべてここに属し、公1として扱う</p>
	<p>＜体験活動等事業＞ 包装に関する体験活動を通して知識の習得と普及を図ることを目的とする事業 （海外視察団、見学会）</p>
	<p>＜表彰、コンクール事業＞ 包装に関連した技術やデザインの啓発を目的として行われる事業で、入賞作品はすべて展示会において一般公開される （パッケージングコンテスト、木下賞）</p>
	<p>＜展示会、ショー事業＞ 包装の最新情報を内外の関連分野に対して啓発、普及を行うことを目的とする事業 （東京国際包装展、暮らしの包装商品展）</p>
収益事業	<p>＜出版事業＞ 毎月刊行されている当会の機関誌の出版に関する事業。雑誌は会員には無料、一般には有料で配布されている。その他、非定期的に包装に関する単行本等を刊行</p>

*その他の催事：新年会 総会

平成 30 年度事業報告

平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日

当会の事業は、概ね年度活動方針および事業計画に沿って実施された。協会事業の柱となっている包装人材育成事業（管理士講座、包装アカデミー講座、等）や情報提供事業は当初の計画通り成果をあげることができた。包装管理士講座は今期（第 5 3 期）、497 名の受講者を得て開催され、再受講合格者を含め 497 名が合格し、包装管理士の称号を授与された。第 1 回開催以来 53 年間で、包装管理士有資格者は 13,989 名となった。包装アカデミー講座は、輸送包装、食品包装、包装材料及び医薬品包装の 4 コースを 6 月より開講し、3 月までの期間で開催し、54 名の包装専士が誕生した。これまでの包装専士有資格者は、1,350 名となった。

隔年開催の東京国際包装展（東京パック 2018）は 10 月 2 日から 5 日までの 4 日間、東京ビッグサイトの東館 6 館を使用しての 27 回目の開催となった。会期中には、A P F（アジア包装連盟）の理事会などが開催され、国際色豊かな展示会となった。

なお、次回の東京国際包装展は、東京オリンピック開催により東京ビッグサイトが使用できないため、4 ヶ月遅れの 2021 年 2 月での開催となっている。

今期における会員動向については、法人会員数は 58 社の入会、27 社の退会があり、合計 1,040 社(期首 1,009 社)となった。また個人会員は 22 名の入会、24 名の退会で 162 名(期首 164 名)となった。

第 1 事 業

1. 研修・育成事業、交流事業、普及啓発事業（公益目的事業 1）

<研修・育成事業>

1) 第 5 3 期包装管理士講座 6 月 5 日(火) 開講 ～ 9 月 12 日(水) 終講

合宿研修 ロワジュールホテル豊橋

会場別座学 東京会場 秋葉原 UDX

大阪会場 ハートンホテル北梅田、大阪府立産業技術研究所

名古屋会場 愛知県産業労働センター、愛知県技術開発交流センター

福岡会場 電気ビル本館

仙台会場 仙台商工会議所会館

札幌会場 北海道経済センター

受講者：497 名（合格者 497 名 *前期からの再受講者 11 名を含む）

合格者内訳 東京会場 245 名 大阪会場 106 名

名古屋会場 77 名 福岡会場 39 名

仙台会場 15 名 札幌会場 15 名

以上の結果、5 3 期を通して包装管理士有資格者は、13,989 名となった。

*今期より、合宿研修については、生活者包装・輸送包装のコース別開催を実施

2) 包装アカデミー 6 月 11 日(月) 開講～3 月 1 日(金) 終講

開講式・オリエンテーション 湘南国際村センター（合宿研修：逗子）
専門教科 (公社) 日本包装技術協会、各実地研修会場

- | | | |
|-------------------------|-----|-----|
| (1) 第32期輸送包装コース | 受講者 | 8名 |
| (2) 第33期食品包装コース | 同 | 13名 |
| (3) 第32期包装材料コース | 同 | 17名 |
| (4) <u>第31期医薬品包装コース</u> | 同 | 17名 |

計 55名 (内、合格者 54名)

今期は54名が合格し、包装専士の称号が与えられた。これで包装専士有資格者は1,350名となった。

3) 第56回全日本包装技術研究大会 東京大会

11月21日(水)~22日(木) 2日間 幕張メッセ国際会議場

輸送包装、生活者包装、食品包装、医薬品包装、化粧品包装、包装資材、電気機器包装、環境包装、パッケージデザインの9部会に85件の発表を行った。

参加者 455名

<特別講演>

「人間の100年。について~「人間の100年。企業の100年。国の100年。」より~」

ライオン(株) 相談役 / (公社)日本包装技術協会 会長 藤重 貞慶 氏

4) 研究会、セミナー、シンポジウム等の研修活動

(1) 機能別包装研究会

①包装資材研究会

第222回 4月20日(金) JPI 会議室 参加者 115名

『素材としての紙の特徴とその可能性』

日本製紙(株) パッケージング・コミュニケーションセンター/

技術調査役 野田 貴治 氏

日本製紙(株) パッケージング・コミュニケーションセンター/

技術調査役 内村 元一 氏

第223回 9月20日(木) JPI 会議室 参加者 109名

『UVインキの基礎と付加価値印刷物実例』

東洋インキ(株) 機能材営業本部 機能性インキ部 主任

沖野 雄一 氏

第224回 11月29日(木) JPI 会議室 参加者 113名

『MA包装(青果物)に必要な要因』

国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構

食農ビジネス推進センター・ビジネスコーディネーター

長谷川 美典 氏

第225回 2月21日(木) JPI 会議室 参加者 142名

『射出成形の基礎と技術動向』

日精樹脂工業(株) 執行役員 営業推進部長

桜田 喜久男 氏

第226回 2月21日(木) JPI 会議室

参加者 137名

『PET樹脂の特性と応用分野について』

PETトレイ協議会 会長補佐

佐多 永行 氏

②輸送包装研究会

第220回 5月24日(木) JPI 会議室

参加者 63名

『可変構造を取り入れたスチールコンテナの開発』

(株)デンソーエアクール 開発部技術支援室・担当部員

原口 裕司 氏

第221回 8月23日(木) JPI 会議室

参加者 88名

『JIS Z 0150 改訂と図記号の国際標準化の動向「包装—包装貨物の荷扱い指示マーク」』

学校法人自由学園 リビング アカデミー・リーダー兼・最高学部

特任教授 中村 祐二 氏

第222回 10月25日(木) JPI 会議室

参加者 95名

『スチール製輸送容器の特徴と評価試験方法（主に振動試験）について』

親和パッケージ(株) ビジネスソリューション部 副部長

渋谷 昌宏 氏

第223回 12月13日(木) JPI 会議室

参加者 68名

『グローバル輸送環境の測定手法と評価基準の構築』

農林水産省 バイオマス循環資源課 課長補佐（食品産業環境対策室）矢部 努 氏

第224回 1月24日(木) JPI 会議室

参加者 65名

『不織布成形で発想をカタチに—包装設計・デザイナーの方へ、

製品の付加価値を1.2倍高めるフェルトの立体成形技術でデザイン性の高い包装』

大塚産業マテリアル(株) 代表取締役社長

大塚 誠嚴 氏

(株)ツジトミ 専務取締役

辻 英幸 氏

③包装ラインシステム化研究会

第220回 7月19日(木) JPI 会議室

参加者 123名

『物流センターにおける包装、出荷の自動化による合理化』

レンゴー(株) 開発本部包装システム開発部システム営業課 課長

上北 敏弘 氏

第221回 8月23日(木) JPI 会議室

参加者 94名

『人手不足や技術継承に対応する食品製造現場の省人化』

オムロン(株) 営業本部 マーケティングセンタ

業界マーケティング部 根立 裕章 氏

第222回 9月20日(木) JPI 会議室 参加者 98名
『Packaging4.0:社会課題を解決する新たなテクノロジー』
B&R(株) セールスエンジニア 小松 和幸 氏

第223回 11月29日(木) JPI 会議室 参加者 109名
『SIG Combibloc System が創出する、紙容器の新たな可能性』
大日本印刷(株) 包装事業部 AP 本部 SIG 統括室
システム・無菌技術チーム 黒田 直宏 氏

第224回 3月20日(水) JPI 会議室 参加者 104名
『最新ロボットシステムについて』
ボッシュ パッケージング テクノロジー(株)
国内営業本部 食品営業部 セールスマネージャー 串田 智志 氏

④生活者包装研究会

第222回 4月20日(金) JPI 会議室 参加者 102名
『食品の異物混入苦情の現状と対応策について～食品事業者喫緊の課題を考えて見る。』
(公社) 日本食品衛生協会 公益事業部 食品衛生推進課技術参与 佐藤 邦裕 氏
(株)鍛造 代表取締役 渡辺 英世 氏

第223回 6月28日(木) JPI 会議室 参加者 136名
『JIS S 0021-2 : 2018 包装—アクセシブルデザイン—開封性の制定について』
サムズパッケージング研究所 所長 太田 進 氏

第224回 7月19日(木) JPI 会議室 参加者 116名
『紙製容器包装の3R改善事例』
紙製容器包装リサイクル推進協議会・部長 松崎 弘 氏

第225回 1月24日(木) JPI 会議室 参加者 70名
『【ロングセラー】森永ホットケーキミックスについて』
森永製菓(株) マーケティング本部 菓子食品マーケティング部 食品カテゴリー
渡部 耕平 氏

第226回 3月20日(水) JPI 会議室 参加者 117名
『ECならではのパッケージデザイン価値の創造について』
アスクル(株)バリュー クリエーション センター 部長 田島 眞弓 氏

⑤包装情報研究会

第100回 5月24日(木) JPI 会議室 参加者 110名
『消費者行動変化における売り場づくり』

(株)Believe-UP 代表取締役

信田 洋二 氏

第101回 6月28日(木) JPI 会議室

参加者 112 名

『無人搬送車によるピッキングシステムの最新の動向について』

(株)日立物流 ロジスティクスソリューション開発本部

ロジスティクステクノロジー部 部長 田中 浩一 氏

第102回 10月25日(木) JPI 会議室

参加者 158 名

『プラスチック資源循環を巡る最近の動向』

経済産業省 産業技術環境局 資源循環経済課

課長補佐(容器包装担当) 山本 恭太 氏

第103回 12月13日(木) JPI 会議室

参加者 70 名

『加飾デザインにおける新しい3D デジタルの可能性』

(株)ケイズデザインラボ プロダクトデザイナー

遠藤 敏彰 氏

第104回 3月20日(水) JPI 会議室

参加者 120 名

『IoT が消費・流通を変えるーRFID による個品管理・マーケティング』

経済産業省 消費・流通政策課 係長

加藤 彰二 氏

(2) 県別包装研究会

①静岡県包装研究会

11月2日(金) 静岡県男女共同参画センター「あざれあ」第一研修室

参加者 30 名

『紙製造工程と品質の関係について～基礎技術から最新の動向まで～』

静岡県紙パルプ技術協会 技術等アドバイザー

久保田 道孝 氏

『衝撃シミュレーションによるプラスチック緩衝材の設計効率化』

富士ゼロックスアドバンステクノロジー(株)

エキスパート開発統括部 包装設計グループ 遠藤 泰輔 氏

②新潟県包装研究会

1月18日(金) 朱鷺メッセ 302 会議室

参加者 46 名

『宇宙食の歴史と現状ならびに災害時の食への活用』

国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構(JAXA) 広報部 特任担当役 中沢 孝 氏

『冷凍食品、その知られざる魅力』

(一社)日本冷凍食品協会 広報部長・消費生活コンサルタント

三浦 佳子 氏

(3) セミナー・シンポジウム

①第25回化粧品包装セミナー

9月19日(水) JPI 会議室

参加者 84 名

「化粧品容器の消費者目線での開発ポイント」

- ・『化粧品容器に求められる内容物とのコンパチビリティ他』
(株)コーセー 商品デザイン部 設計開発室 田部 初枝 氏
- ・『メーキャップ化粧品のトレンドと化粧品開発のキーワードについて』
(株)トキワ グローバルテクノロジーセンター 主席研究員 井上 隆 氏
- ・特別講演『化粧品の最新トレンドと注目キーワード』
(株)INFAS パブリケーションズ WWD BEAUTY 編集長 大出 剛士 氏
- ・『質問会』
(株)コーセー 商品デザイン部 設計開発室 田部 初枝 氏
(株)トキワ グローバルテクノロジーセンター 主席研究員 井上 隆 氏
(株)DSC 代表取締役 住瀬 雅広 氏
(株)資生堂 パッケージ開発センター 外装企画グループマネージャー 木本 喜久 氏
(株)ポーラ デザイン研究室 アートディレクター 鈴木 智晴 氏
花王(株) 研究開発部門 包装容器開発研究所 上席研究員グループリーダー 岡 政弘 氏
(株)コーセー 商品デザイン部 設計開発室 設計1課 課長 加川 泰央 氏

②第9回パッケージイノベーションセミナー

10月26日(金) AP新橋 Dルーム 参加者88名

「社会環境の変化と多様な生活者がパッケージに与える影響」

- ・『消費財パッケージに影響を与える消費者のチカラ(欧米の最新容器・包装事例)』
(株)パッケージング・ストラテジー・ジャパン 取締役社長 森 泰正 氏
- ・『MUJI 式デザイン思考と商品開発』
千葉商科大学 人間社会学部 准教授 増田 明子 氏
- ・『社会及び価値観の変化に対応する(花王の)商品デザイン開発』
花王(株) 作成部門 パッケージ作成部 スキンケア担当部長 能村 美穂 氏
- ・『デザイン心理学を応用したパッケージデザイン—Nudge(さり気なく仕向ける)と Evidence-based Design(科学的根拠に基いたデザイン)の視点から—』
千葉大学大学院 工学研究院 創成工学専攻 デザイン心理学研究室 教授
(株)BB STONE デザイン心理学研究所 技術顧問 日比野治雄 氏

③第14回包装材料セミナー

1月25日(金) 富士ソフトアキバプラザセミナールーム1 参加者151名

「包装業界での環境への対応と期待される今後の取り組み」

- ・『海外のパッケージの環境対策事情』
(株)パッケージング・ストラテジー・ジャパン 取締役社長 森 泰正 氏
- ・『環境中での有機リサイクルを実現する時限生分解性プラスチックの提案』
群馬大学 学術研究院・教授 学長特別補佐 食健康学教育研究センター・センター長 粕谷 健一 氏
- ・『トッパンの環境対応型パッケージの取り組み』
凸版印刷(株) 生活・産業事業本部 BIC 開発本部 開発1部2T 課長 香川 幸子 氏

- ・『容器包装プラスチックのリサイクルシステムの概略と容器包装に望むこと』
ヴェオリア・ジェネッツ(株) プラスチックリサイクル本部 副本部長 喜田 知克 氏

④平成 30 年度医薬品包装セミナー

3 月 8 日(金) 長井記念ホール

参加者 93 名

「医薬品に纏わるリスクと対策を包装の視点から考える」

- ・『医薬品流通の仕組みと流通から見た医薬品包装について』
東邦ホールディングス(株) システム戦略本部長 鈴木 竜太 氏
- ・『誤飲時の消化管損傷リスク軽減、やわらかさを追及した PTP』
九州大学 先端医療イノベーションセンター臨床試験部門
九州大学大学院 医学系学府 医学専攻 博士課程 4 年 田村 拓也 氏
- ・『海外の事例から学ぶ医薬品包装の不正、偽造対策（二次包装の封緘と最新の偽造防止技術）』
東京医薬紙器(株) 取締役 / シグマ紙業(株) 常務取締役 嶋田 吉孝 氏
- ・『地域中核病院の業務からみた医薬品デザインへの要望』
地方独立行政法人静岡県立病院機構 静岡県立総合病院 薬剤部 副主任
嘉屋 道裕 氏

⑤第 6 回包装近未来シンポジウム

3 月 14 日(木) 長井記念ホール

参加者 166 名

「容器包装の視点からプラスチック資源循環戦略を考える～プラスチックの本質を知ろう～」

- ・『プラスチック問題とサーキュラー・エコノミー』
一般社団法人 サステナビリティ技術設計機構 代表理事 原田 幸明 氏
- ・『プラスチックによる海洋汚染と使い捨てプラスチックの削減』
東京農工大学 農学部 教授 高田 秀重 氏
- ・『業界から見たプラスチック問題への対応』
日本プラスチック工業連盟 専務理事 岸村小太郎 氏
- ・『花王(株)のプラスチック容器資源循環戦略』
花王(株) 包装容器開発研究所 所長 稲川 義則 氏
- ・『海洋生分解性を有するカネカ生分解性ポリマーPHBH™のご紹介』
(株)カネカ R&D 企画部 兼 新規事業開発部 幹部職 藤木 哲也 氏
- ・『パネルディスカッションー容器包装の視点からプラスチック資源循環戦略を考えるー』
一般社団法人 サステナビリティ技術設計機構 代表理事 原田 幸明 氏
日本プラスチック工業連盟 専務理事 岸村小太郎 氏
花王(株) 包装容器開発研究所 所長 稲川 義則 氏
(株)カネカ R&D 企画部 兼 新規事業開発部 幹部職 藤木 哲也 氏
有田技術士事務所 所長 有田 俊雄 氏
NPO 法人サステナビリティ日本フォーラム 代表理事 後藤 敏彦 氏
住本技術事務所 所長 住本 充弘 氏

⑥第26回化粧品包装セミナー

3月28日(木) JPI 会議室

参加者 67 名

「プラスチック化粧品容器に求められるサステナビリティと安全性」

- ・『フレキシブルパッケージの循環型社会を考えるーリサイクル性の向上ー』

ダウ・ケミカル日本(株) ポリエチレン事業部 バリュー・チェーン・マーケティング
伊木 彩乃 氏

- ・『環境配慮型材料バイオプラスチック～ポリ乳酸 (PLA) を中心に～』

トタルコービオン PLA b.v. 日本連絡事務所 代表 金高 武志 氏

- ・『低ホルムアルデヒド化による低 VOC POM 樹脂、ポリケトン樹脂 (PK) の紹介』

東京材料(株) 高機能材料事業部 開発部長 田中 利則 氏

- ・『質問会』

ダウ・ケミカル日本(株) ポリエチレン事業部 バリュー・チェーン・マーケティング 伊木 彩乃 氏

トタルコービオン PLA b.v. 日本連絡事務所 代表 金高 武志 氏

東京材料(株) 高機能材料事業部 開発部長 田中 利則 氏

(株)DSC 代表取締役 住瀬 雅広 氏

(株)資生堂 パッケージ開発センター 外装企画グループマネージャー 木本 喜久 氏

花王(株) 研究開発部門 包装容器開発研究所 上席研究員グループリーダー 岡 政弘 氏

(株)コーセー 商品デザイン部 設計開発室 設計1課 課長 加川 泰央 氏

(4) 包装情報ステーション

①第62回

8月7日(火) JPI 会議室

参加者 15 名

『知らなかったではすまされない EU における一般データ保護規則 (GDPR) について』

神谷法律事務所 弁護士

神谷 宗之介 氏

②第63回

10月25日(木) JPI 会議室

参加者 145 名

『食品用器具包装の新たな規制の検討状況について』

厚生労働省 医薬・生活衛生局食品基準審査課 課長補佐

近藤 卓也 氏

(5) コース

①第24回包装新人研修コース

4月12日(木)・13日(金) セミナーハウス『クロスウェーブ』

参加者 25 名

②第51回包装基礎コース

5月9日(水)～11日(金)・17日(木)～18日(金)

JPI 会議室

参加者 73 名

③第35回フレキシブルパッケージコース

11月9日(金) JPI 会議室

参加者 69 名

下山田包装技術事務所 所長

下山田 正博 氏

④第9回食品包装コース

11月12日(月)・12月12日(水)・1月29日(火)・2月20日(水)・3月13日(水)

JPI 会議室 参加者 20 名
水口技術士事務所 所長 水口 眞一 氏

⑤第14回緩衝包装設計コース

1月22日(火) JPI 会議室 参加者 27 名
(株)石野製作所 専務理事 高橋 二郎 氏

⑥第44回段ボール包装設計コース

2月14日(木)～15日(金) JPI 会議室 参加者 40 名
レンゴー(株) 包装技術部 東京包装技術第1課 課長 大谷 昌義 氏
王子コンテナ(株) 営業本部 CS推進部 包装技術 小林 昌弘 氏

(6) 2018 日本パッケージングフォーラム

- 10月2日(火) TOKYO PACK2018 会場内 参加者 183 名
- ・「“aibo”パッケージの開発
～出会いの演出とペットボトルリサイクル材包装への挑戦～」
ソニーグローバルマニュファクチャリング&オペレーションズ(株)
包装技術部設計2課 佐藤 元洋 氏
 - ・「マイルドクレンジングシャンプー・モイストボディウォッシュの環境配慮容器
の開発と今後の取り組み」
(株)ファンケル マーケティング本部 化粧品事業部
商品企画 G 平野 大起 氏
 - ・「段ボールバネ性を利用した“潰れない”緩衝仕切」
TOTO(株) ウォシュレット開発第二部 包装・印刷物 G 伊藤 勇樹 氏

(7) 包装懇話会の開催 (主催: J P I 包装技術研究所)

- ①食品・流通包装懇話会 登録者数 64 名 6月・9月・11月・1月
- ②医薬品包装懇話会 登録者数 136 名 6月・9月・10月 (特別企画)
11月・2月
- ③パッケージデザイン懇話会 登録者数 38 名 5月・8月・11月・2月
- ④輸送包装懇話会 登録者数 52 名 7月・9月・12月・2月

<交流事業>

国内事業においては、半日の工場見学を企画・実施した。また、海外事業では、10月に開催された東京パック2018の併催事業として、アジア15ヶ国によって構成されているアジア包装連盟 (APF) の創立50周年を記念する多数のイベントが開催された。これらイベントにはアジア諸国から多くの関係者が参加した他、同展には欧米各国からの出展者や来場者があり、各々の要請のもとついた交流活動を行った。また、同じく10月には、米国・シカゴで開催された世界を代表

する国際包装展・パックスポ・インターナショナル 2018 に視察団を派遣した。同視察団には 21 名が参加した。

1) 国内事業

(1) 月例見学会 (3回開催)

第 299 回 昭和電工 KPR プラスチックケミカルリサイクル	5 月 29 日(火)	参加者 20 名
第 300 回 株全農ハイパックス	10 月 17 日(水)	参加者 20 名
第 301 回 東洋ガラス(株) 千葉工場	11 月 21 日(水)	参加者 29 名

2) 海外事業

(1) 米国包装専門視察団の派遣

10 月 13 日(土)~19 日(金) 7 日間	(米国・シカゴ)	参加者 21 名
* パックスポ 2018 展の視察		
* 主催者(PMMI)マネージャーによる米国包装事情の講演		
* ウォルマート等の大型スーパー視察		

(2) アジア包装連盟 (APF) との連携

理事会 9 月 29 日(土)~10 月 4 日(木) 東京
加盟 15 ヶ国中、8 ヶ国の代表が参加し、APF 創立 50 周年を記念する諸事業と共に、理事会やアジアスター2018 コンテスト等が行われた。同式典及び祝賀パーティには 500 名の関係者が参加した。アジアスターコンテストには、9 ヶ国から 170 点のエントリーがあり、審査の結果、90 点 (日本の 18 点を含む) が本年のアジアスター賞を獲得した。

(3) 世界包装機構 (WPO) との連携

- ① 理事会 5 月 2 日(水)~3 日(木) オーストラリア・ゴールドコースト
ワールドスター2017 の表彰式、世界包装会議、他
- ② 理事会 10 月 22 日(月)~25 日(木) 中国・済南
ワールドスター2018 コンテスト審査、世界包装会議、他
- 加盟 62 ヶ国中、20 ヶ国の代表が参加し、理事会、世界包装会議及びワールドスターコンテストが開催された。ワールドスターコンテストには 35 ヶ国から 319 点のエントリーがあり、審査の結果、190 点 (日本の 26 点を含む) が本年のワールドスター賞を獲得した。

(4) 国際包装研究機関連絡会 (IAPRI) との連携

第 21 回 IAPRI 世界包装会議 6 月 19 日(火)~22 日(金) 中国・珠海
IAPRI 事務局と連携し、発表者及び参加者の募集に対する支援を行った。

(5) 海外からの包装関係者受入れ

東京パックス 2018 の開催を機に、中国、台湾、タイ等のアジア諸国をはじめ、スウェーデ

ン、オランダ、英国等からの包装関係者を受入れ、交流会や情報交換を行った。

<普及啓発事業>

本事業の中心となる日本パッケージングコンテストは、経済産業省、日本商工会議所等の後援のもとに毎年開催されている。一般に対してもホームページからの募集を行っており参加が可能である。本年度も大学、公的機関及び消費者団体の方々に構成された審査員によって各賞を決定し、入賞製品（最高賞は経済産業大臣賞）をグッドパッケージ展として東京国際包装展(TOKYO PACK 2018)の特設会場において一般公開した。

木下賞については、本年度もまた審査員は官学からの有識者で構成され、応募はホームページを通して一般にも公開されるため誰でも無料で応募できるが、審査基準は大変高くまた厳しいものとなっている。また、受賞製品においてはその年の最高技術水準ということで、最近では消費者も大いに関心を示している。

1) 第42回木下賞

審査選考 4月23日(月) (審査委員長 小野拓邦氏(東京大学名誉教授))

表彰式 6月19日(火) 如水会館(定時総会時)

応募件数 18件 受賞件数 7件

A. 研究開発部門：1件

「立体成形『Cool Shock[®]』を施したパウチ」 東洋製罐(株)

B. 改善合理化部門：1件

「環境とユーザビリティに配慮した飲料用6缶パック」 アサヒビール(株)

ウエストロック(株)

レンゴリーバーウッドパッケージング(株)

C. 新規創出部門：2件

「ロッチェ キシリトールガム<X ミント>デジタル印刷活用による『パッケージ』を起点とした大規模周年プロジェクト」 (株)ロッチェ

凸版印刷(株)

(株)日本 HP

「液体紙容器用、中栓同時開栓注出口の開発」 メビウスパッケージング(株)

大日本印刷(株)

包装技術賞：3件

「『三ツ矢サイダー』高バイオマス度ラベルー全包装資材に植物由来原料を使用した取り組み」 アサヒ飲料(株)

(株)フジシール

「低摩擦段ボール『コスレン』」 レンゴリー(株)

「輸送貨物の固縛ベルト用張力計」 山九(株)

バンドー化学(株)

* 審査員は9名で、経済産業省をはじめとする公的組織からの代表や学識経験者により構成され、企業からの参加はない。

2) 2018 日本パッケージングコンテスト (第40回)

審査選考 6月14日(木) (審査委員長 小野 拓邦(東京大学))

表彰式 8月29日(水) 東京ガーデンパレス

応募件数 419点 136点が入賞 (内、13点がジャパンスター賞)

経済産業大臣賞「“aibo”パッケージ」ソニーグローバルマニュファクチャリング &オペレーションズ(株)

審査委員は17名で経済産業省をはじめとする公的組織からの代表や学識経験者によって構成され、企業からの参加はない。

3) 2018 グッドパッケージング展

10月2日(火)~5日(金) 東京パック会場内

上記コンテストにおいて入賞したパッケージ136点(ジャパンスター賞13点、グッドパッケージング賞123点)の展示を「東京国際包装展(東京パック)2018」の会場で行った。

また、入賞したパッケージは、すべて作品説明を和英で作成し、雑誌「包装技術」で紹介した他、小冊子として作成し国内及び全世界に広報を行った。

2. 展示会事業 (公益目的事業 2)

今年度は、隔年で開催されているTOKYO PACK(東京国際包装展)の開催年であった。本展は包装資材、包装機械、包材加工機械、食品機械、環境・関連機材、物流システム機器等に至る生産・包装・流通の技術振興や交流、情報発信をもって社会発展に資することを目的とした国際包装展で、今回は「考えよう、地球をまもるパッケージ」のテーマのもと700社・団体による出展社を迎え開催した。世界でも最先端をゆく我が国の包装技術が一堂に展示されたほか、海外から13ヶ国・地域の出展があり、国内はもとより海外の包装関係者からも大きな関心が寄せられた。なかでもここ近年、力強い経済成長により投資意欲が旺盛なアジア各国を中心とした海外来場者が増加傾向にあり、出展各社との積極的な交流が連日行われていた。

なお、TOKYO PACKの開催年は、暮らしの包装商品展の準備年となり、同展については国内に対し広く一般に広報活動を行った。

1) TOKYO PACK 2018 (2018 東京国際包装展)

10月2日(火)~5日(金) 4日間 東京ビッグサイト

出展社:700社・団体 出展小間数:2,609小間

来場登録者数:62,488名 (うち海外登録者数:3,881名)

入場者数:209,049名

2) アジア主要各国・地域で開催される国際包装展へのPR小間での参加

(1) 4月17日(火)~20日(金)

KOREA PACK 2018 (国際包装機資材展示会) 高陽 KINTEX

(2) 6月27日(水)~30日(土)

TAIPEI PACK 2018 (台北国際包装工業展) 台北世界貿易センター南港館

(3) 7月11日(水)～13日(金)

PROPAK CHINA 2018 (上海国際加工包装展) 上海新国際博展センター

3) 暮らしの包装商品展 2019 の開催準備

会期 : 2019年10月10日(木)・11日(金) 2日間

場所 : 東京駅前「KITTE」IFアトリウム、B1F パフォーマンスゾーン

開催に向け出展募集パンフ作成し、会員会社はじめ関係団体への送付を行った。

3. 調査研究事業 (公益目的事業 3)

現在、日本は、ISO/TC122(包装)の議長及び、国際幹事国を引受けており、当会は、包装分野の国内審議団体の他に、国際事務局としてISO規格の開発・改廃を進め、これらを通じて国際間の相互理解促進に寄与している。本年度は、アクセシブルデザインのISO22015「取扱いと操作」の継続を行った。また、「包装と環境に関する国際標準化開発」ではISO4180「包装貨物試験法」について、国際幹事国として支援した。さらに、WG16「小口輸送のための温度制御輸送包装の国際標準化」は、国際幹事国候補として調整を行っている。また、包装は国民の日常生活に深く係っており、絶えず、その標準化を見直し、生活し易い環境を整えることが求められていることから、本年度もJIS規格の見直し作業を精力的に進めた。

日本の包装産業出荷統計に関する調査研究は、昭和38年の創立以来欠かすことなく継続して実施しており、本年度も平成29年の統計をまとめた。

1) ISO/TC122(包装)の議長・国際幹事国(事務局)としての活動

・各規格委員会の国際会議

2) ISO/TC122(包装)の国内審議団体としての調査研究及び標準開発活動

(1) 包装全般、危険物輸送容器包装等の定期見直し規格に関する調査研究

(2) 「包装と環境に関する国際標準化開発」に対する調査研究

・包装貨物試験方法一通則の国際標準化

・再封性小児用安全包装システムのための機械的試験方法(改正)の国際標準化

・小口輸送のための温度制御輸送包装の国際標準化(新規)

・医薬品包装のための不正開封確認機能の国際標準化(新規)

・医薬品のタンパー包装の保障と特徴(新規)

・循環経済パッケージに関する包装標準化動向調査

(3) 「包装のアクセシブルデザイン」(包装の取扱いと操作)に関する国際規格化の推進

・第18回国際会議 11月14日(水)～17日(土) オランダ

3) JIS制定・改正に関する調査研究

(1) 包装の環境適正化に関するJISの原案の継続事業の実施

・JIS Z 1707 食品包装用プラスチックフィルム通則の改正

・JIS Z 0232 包装貨物・振動試験方法の改正

・アクセシブルデザイン ー情報と表示ーの制定

(2) 5年経過したJISの定期見直し

上記調査研究は、政府関連機関からの委託事業であり、来年度は、今後に検討を行う。

4) 平成 29 年の日本の包装産業出荷統計に関する調査研究

包装・容器出荷金額 5 兆 6,528 億円 (前年 5 兆 6,727 億円 前年比 99.6%)

包装関連機械生産金額 4,967 億円 (前年 4,804 億円 前年比 103.4%)

合計金額 6 兆 1,495 億円 (前年 6 兆 1,531 億円 前年比 99.9%)

4. 出版関連事業 (収益事業)

- 1) 機関誌「包装技術」の刊行 月刊 (3月号で通巻 671号)
- 2) 「包装技術便覧」の発刊 2019年2月28日 (上製本 2,525頁)
- 3) 「Q&A 容器包装規制基準の手引き」の編纂
- 4) 「包装用語 早わかり(仮称)」単行本の発刊企画

第2 諸 会 議

- 1) 理事会 5月22日(火)、6月19日(火)、3月13日(水)
- 2) 常務理事会 5月22日(火)、9月13日(木)、11月15日(木)
3月13日(水)
- 3) 全国支部連絡会 5月8日(火)、11月20日(火)

第3. 行事・その他の活動

- 1) 行事
 - (1) 第7回定時総会 6月19日(火) 如水会館
参加者 619名 (委任状出席者含む)
 - (2) 2019年包装界合同新年会 1月9日(水) ホテル椿山荘東京 参加者 689名
- 2) その他の活動
 - (1) Web サイトによる最新情報の提供 定期更新 12回、その他逐次情報更新
 - (2) Eメールによる協会活動内容の国内配信 メールマガジン年間 12回
 - (3) J P I 関連団体との連絡提携
日本包装専士会、日本包装管理士会、日本包装コンサルタント協会、
技術士包装物流会、日本包装学会、日本 MH 協会 他
 - (4) 行政機関要請への協力と連携、研究機関、消費者団体、市民団体等との連携
経済産業省、厚生労働省、農林水産省、中小企業庁、消費者庁、東京都、
横浜市、(地独)大阪産業技術研究所、兵庫県工業技術センター、
あいち産業科学技術総合センター 他

第4組 組織

会員動勢（平成30年4月1日～平成31年3月31日）は、次の通りである。

1. 法人会員

平成30年度期首	平成30年度		
1009社	入会数 58社	退会数 27社	現在数 1040社

2. 個人会員

平成30年度期首	平成30年度		
164名	入会数 22名	退会数 24名	現在数 162名

3. 特別会員

平成30年度期首	平成30年度		
19名	入会数 0名	退会数 1名	現在数 18名

<会員登録動勢一覧>

	平成30年 4月1日		本年度		平成30年度 合計
			増	減	
会員総数	1192		80	52	1220
法人	1009社		58社	27社	1040社
(口数)	(1036)		(58)	(27)	(1067)
個人	164名		22名	24名	162名
特別会員	19名		0名	1名	18名
登録員数	法人	1009社 2728名	58社 128名	27社 74名	1040社 2782名
	個人	164名	22名	24名	162名
	合計	2892名	150名	98名	2944名
本部(東京)	法人	1580名	78名	47名	1611名
	個人	86名	12名	12名	86名
関西支部	法人	584名	24名	14名	594名
	個人	34名	4名	4名	34名
中部支部	法人	387名	18名	11名	394名
	個人	22名	5名	4名	23名
西日本支部	法人	89名	6名	1名	94名
	個人	8名	0名	3名	5名
北海道支部	法人	47名	0名	1名	46名
	個人	2名	0名	0名	2名
東北支部	法人	41名	2名	0名	43名
	個人	12名	1名	1名	12名

支部事業活動報告

(北海道支部・東北支部・中部支部・関西支部・西日本支部)

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

◎ 北海道支部

第1. 事業

<研修、育成事業> (公益目的事業 1)

- 1) 第53期包装管理士講座(札幌会場) 北海道経済センター
6月26日(火)~28日(木) 7月10日(火)~13日(金) 10月16日(火)
受講者15名(輸送包装コース14名、生活者包装コース1名)
- 2) 研究会・講演会
 - (1) 定時総会特別講演 6月22日(金) ニューオータニイン札幌 参加者27名
『パッケージングコンテスト』に見る最近の消費者包装の動き~食品包装の視点から~
(公社)日本包装技術協会 包装技術研究所包装システム研究室室長 平井 純一
 - (2) 包装基礎セミナー 7月4日(水) 北海道経済センター 参加者32名
・「(株)クレスコにおける苦情削減への取り組み紹介」
(株)クレスコ 品質管理部部長 菅原 宏智 氏
・「デジタルエンジニアリング技術を活用した容器開発事例
~シミュレーションや3Dプリンタを使った超高速ものづくりのススメ~」
ライオン(株) 容器・包装技術研究所副主席研究員 中川 敦仁 氏
 - (3) 包装懇話会(日本包装管理士会北海道支部と共催)
11月8日(木) 札幌すみれホテル 参加者60名
「食品・飲料等の品質保持に関する包装技術について」
凸版印刷(株) 生活・産業事業本部 ビジネスイノベーションセンター
開発本部 第一開発部 部長 小谷 直己 氏
 - (4) 第53期包装管理士レポート発表会(日本包装管理士会北海道支部と共催)
11月8日(木) 札幌すみれホテル 参加者27名
 - (5) 新春研究会(日本包装管理士会北海道支部と共催)
1月23日(水) ニューオータニイン札幌 参加者40名
「MAフィルムを利用したプロッコリーの輸送技術開発」
ホクレン農業協同組合連合会 農業総合研究所 食品流通研究課 課長補佐
吉田 慎一 氏

<交流事業> (公益目的事業 1)

- 1) 企業見学研究会(北海道生産性本部と共催) 10月10日(水) 参加者37名
①北海道電力(株)石狩湾新港火力発電所

②北海道ガス(株)石狩LNG（液化天然ガス）基地

第2. 諸会議

- | | | |
|---------------|----------|----------|
| 1) 第1回支部運営委員会 | 5月22日(火) | 札幌すみれホテル |
| 2) 第2回支部運営委員会 | 3月5日(火) | 札幌すみれホテル |

第3. 行事・その他の活動

- | | | | |
|---------------------------------|----------|-------------|---------|
| 1) 支部定時総会(第51回) | 6月22日(金) | ニューオータニイン札幌 | |
| 2) JPI 北海道支部・IPP 北海道支部合同親睦会 | 7月20日(金) | 麒麟ビール園 | 参加者 20名 |
| 3) 第53期包装管理士合格証書授与式・交流会 | 11月8日(木) | 札幌すみれホテル | 参加者 30名 |
| 4) 2019年賀詞交歓会(日本包装管理士会北海道支部と共催) | 1月23日(水) | ニューオータニイン札幌 | 参加者 28名 |

◎ 東北支部

第1. 事業

<研修、育成事業> (公益目的事業 1)

- | | | | |
|------------------------------|--------------------------------|-----------------|---------|
| 1) 第53期包装管理士講座(仙台会場) | 仙台商工会議所会館他 | | |
| | 6月19日(火)~21日(木) | 7月17日(火)~20日(金) | |
| | 受講者15名(輸送包装コース11名、生活者包装コース4名) | | |
| 2) 研究会・講演会 | | | |
| (1) 特別講演会(東北生産性本部・東北IE協会と共催) | 6月27日(水) | 仙台商工会議所会館 | 参加者 44名 |
| | 「東北経済をとりまく金融経済情勢」 | | |
| | 日本銀行仙台支店長 | | 岡本 宜樹 氏 |
| (2) 東北支部包装技術研究発表会 | 11月5日(月) | 仙台商工会議所会館 | 参加者 31名 |
| | 発表11件 第53期包装管理士包装論文 | | |
| (3) 東北支部包装研究会(日本包装管理士会共催) | 11月27日(火) | 仙台商工会議所会館 | 参加者 26名 |
| | ・「アクティブパッケージ、インテリジェントパッケージの動向」 | | |
| | 一般社団法人日本食品包装協会 理事長 | | 石谷 孝佑 氏 |
| | ・「農産物の包装資材の歴史と課題」 | | |
| | 株式会社精工 代表取締役会長 | | 林 健男 氏 |
| (4) 東北支部包装講演会(東北IE協会共催) | 3月15日(金) | 仙台商工会議所会館 | 参加者 87名 |
| | 「ものづくりの進化と安川電機の取組み」 | | |
| | 株式会社安川電機 東京支社 東部第2営業部次長 | | 益富 茂樹 氏 |

<交流事業> (公益目的事業 1)

- 1) 企業見学会 (東北生産性本部・東北IE協会と共催) 10月23日(火) 参加者21名
①YKKAP(株)東北製造所
②トヨタ紡織東北(株)宮城工場

第2. 諸会議

- 1) 第1回支部運営委員会 6月11日(月) 仙台商工会議所会館
2) 第2回支部運営委員会 11月5日(月) 仙台商工会議所会館

第3. 行事・その他の活動

- 1) 第53期包装管理士講座合格証書授与式・新包装管理士を囲む会
11月5日(月) 仙台商工会議所会館 参加者24名
2) 2019年新年名刺交換会 1月16日(水) 江陽グランドホテル 参加者59名
講演会「ドローンの技術、規制、利活用の最新情報」(東北生産性本部・東北IE協会共催)
一般社団法人日本ドローンコンソーシアム会長
株式会社自律制御システム研究所代表取締役 CEO 野波 健蔵 氏

◎ 中部支部

第1. 事業

<研修、育成事業> (公益目的事業 1)

- 1) 第53期包装管理士講座(名古屋会場)
愛知県産業労働センター、愛知県技術開発交流センター
6月20日(水)~22日(金) 7月3日(火)~6日(金) 7月10日(火)~7月13日(金)
受講者78名(輸送包装コース49名、生活者包装コース29名)
- 2) 講演会・研究会
- (1) 包装資材研究例会 6月27日(水) 愛知県産業労働センター 参加者83名
・「ワンウェイ用紙製パレット『APPA』の強度研究」
もりや産業株式会社 名古屋営業所 係長 夏目 悟 氏
・「BtoBに最適な次世代成形トレイ『ピークス』の開発」
川上産業株式会社 名古屋本社営業所 課長 白井 健太 氏
・「可変構造を取り入れたスチールコンテナの開発」
株式会社デンソーエアークール 技術支援室 担当部員 原口 裕司 氏
- (2) 輸送包装研究例会 7月18日(水) 愛知県産業労働センター 参加者54名
・「船舶IoT時代における日本郵船グループでの
IoTインフラ構築の取り組みと実務での活用事例の紹介」
株式会社MTI 船舶技術グループソリューションチーム チーム長 前田 佳彦 氏
・「包装の影響を及ぼすアジア物流インフラの現状と課題」
日本通運株式会社 グローバルマーケティング企画部 部長 犬井 健人 氏

- (3) 生活者包装研究例会 9月19日(水) 愛知県産業労働センター 参加者 52名
- ・「食品包装の安全法規：国内外状況とポジティブリスト化の動向」
日本包装専士会 顧問 西 秀樹 氏
 - ・「食品包材における賞味期限延長について」
東洋食品工業短期大学 包装食品工学科 テクニカルアドバイザー 田口 善文 氏
- (4) 包装技術研究例会 10月17日(水) 愛知県産業労働センター 参加者 45名
- ・「未来のお買い物を変える電子透かし技術への取り組み」
大日本印刷株式会社 情報イノベーション事業部C&Iセンター プロモーションプラットフォーム本部
リテールマネジメント企画開発部 第3グループ リーダー 鳥倉 紳一 氏
 - ・「デジタルエンジニアリング技術を活用した容器開発事例」
～輸送シミュレーションや3Dプリンタを使った超高速ものづくりのススメ～
ライオン株式会社 容器・包装技術研究所 副主席研究員 中川 敦仁 氏
- (5) 包装技術講習会 11月14日(水) 愛知県産業労働センター 参加者 69名
- ・「グローバル輸送環境の測定方法と評価基準の構築」
三菱電機(株) 住環境研究開発センター 設計・品質技術開発部
設計技術開発グループ 横山 彰久 氏
 - ・「適正輸送包装への挑戦 ～研究成果は役に立つ?～」
神戸大学大学院 海事科学研究科 輸送包装研究室
教授(工学博士) 斎藤 勝彦 氏
- (6) 定時記念講演会 6月12日(火) ホテルキャッスルプラザ 参加者 74名
- 「宇宙ステーション補給機『こうのとり』～物資の梱包、搭載から廃棄まで～」
国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構 (JAXA)
有人宇宙技術部門HTV技術センター 技術領域主幹 麻生 大 氏
- (7) 2018 日本パッケージングコンテスト入賞作品発表会
- 12月4日(火) 愛知県産業労働センター 参加者 93名
- ・「ハンドル周辺部に触れずに固定できる段ボールパット」
ダイナパック(株)開発本部中部CSC 山下 凌介 氏
 - ・「天面再封かん形式の新形状開発」
野段ボール(株)営業部開発係長 鈴木 康二 氏
 - ・「ハイブリットカー用バッテリーの包装改善」
中央紙器工業(株)商品開発部 井手橋泰智 氏
 - ・「スリップマスター開発」
中津川包装工業(株)販売推進部課長代理 内野 充博 氏
 - ・「超軽量ワンウェイパレット『ロジパレ』」
日本モールド工業(株)開発課長補佐 清水 幸章 氏
 - ・「フォークリフト用リアアスクールハブ輸出用包装改善」
刈谷紙器(株)営業部開発課長 三浦 幸雄 氏

(8)第58回包装技術研究大会中部大会

2月20日(水) 愛知県産業労働センター 参加者 104名

発表9件 2018日本パッケージングコンテスト ジャパンスター賞作品・包装管理士講座優秀論文他

(9)第32回包装研究懇話会 3月13日(水) 参加者 36名

見学先 株式会社デンソーロジテム 西尾直納物流センター

「最新マルチカッティングマシンの事例紹介と体験研修」

3) セミナー

(1) 第28回包装設計の基礎講座

5月17日(木)～18日(金) 愛知県技術開発交流センター 参加者 33名

・「包装の社会的役割 ・適性包装に向けての京セラの包装設計の考え方」

京セラドキュメントソリューションズ(株) プリンター統轄技術部

第26技術部MD28課主事

船木 敬一 氏

・「段ボールの構造と原紙種類・段ボール箱の規格と製造工程・箱の圧縮強さの評価」

・「段ボール箱の設計手順・段ボール箱の設計要因と劣化要因・箱圧縮強さの算出法」

・「段ボール箱の製作」

ダイナパック(株) 開発本部製品開発部部長代理

澤田 幸美 氏

・「機能性プラスチック包装材料の種類と使用の実例・包装材料を取り巻く世界の法規制」

(株)アイセロ マーケティング本部第2ビジネスユニット プロダクトマネージャー

大高 明 氏

・「緩衝包装の目的・緩衝材の種類・緩衝性能と緩衝設計技法」

あいち産業科学技術総合センター 産業技術センター 環境材料室 主任研究員 佐藤 幹彦 氏

・「包装試験、包装材料試験の目的と試験法および評価法」

あいち産業科学技術総合センター 産業技術センター 環境材料室 主任

飯田 恭平 氏

・「包装試験関連施設（衝撃・落下・振動試験、包装材料試験、箱圧縮試験など）の見学」

あいち産業科学技術総合センター 産業技術センター 環境材料室 主任研究員 林 直宏 氏 他

・「トータルコスト削減に向けた集合包装」

三菱電機(株) 住環境研究開発センター 設計・品質技術開発部設計技術開発グループ

新井 達也 氏

・「ロジスティクスの中での包装の役割・陸海空の輸送形態の特性と包装改善」

ヤマハ発動機株式会社 生産戦略統括部物流・安全貿易部物流技術

梱包グループリーダー

深村 英明 氏

<交流事業> (公益目的事業 1)

1) 見学会 10月23日(火) 参加者 43名

① トヨタ自動車株式会社 上郷部品センター

② ヤマト運輸株式会社 中部ゲートウェイ

第2. 諸会議

1) 支部役員会 5月24日(木) 名古屋マリオットアソシアホテル

- 2) 第1回支部運営委員会 9月14日(金) ホテルキャッスルプラザ
- 3) 第2回支部運営委員会 3月15日(金) ホテルキャッスルプラザ
- 4) 2019年度 研究例会講演テーマ作業部会
2月20日(水) ホテルキャッスルプラザ

第3. 行事・その他の活動

- 1) 支部定時総会・会員交流会 6月12日(火) ホテルキャッスルプラザ 参加者74名
- 2) 第53期包装管理士合格証書授与式・交流会
10月26日(金) メルパルク名古屋 参加者73名
- 3) 中部包装界新年賀詞交歓会 1月17日(木) ホテルキャッスルプラザ
参加者140名

◎ 関西支部

第1. 事業

1. 研修、育成、交流事業、普及啓発

<研修、育成事業> (公益目的事業 1)

1) 第53期包装管理士講座 (大阪会場)

ハートンホテル北梅田 / 大阪府立産業技術総合研究所

6月19日(火)～21日(木)、7月3日(火)～6日(金)、7月10日(火)～13日(金)

受講者109名 (輸送包装コース38名、生活者包装コース71名)

2) 研究会・講演会

(1) 会員フォーラム(研究会)

- ①4月18日(水) TKPガーデンシティ PREMIUM 心斎橋 参加者51名
「ここまで話せる業界誌の裏側」～「月刊食品包装」の人気特集はこうして生まれた!～
日報ビジネス(株) 包装編集部「月刊食品包装」編集デスク 吉沢 文雄 氏
- ②6月27日(水) TKPガーデンシティ PREMIUM 心斎橋 参加者50名
「人の触知覚メカニズムと触感デザイン」
名古屋工業大学 大学院工学研究科准教授 田中 由浩 氏
- ③7月18日(水) TKPガーデンシティ PREMIUM 心斎橋 参加者78名
「たかがピロー、されどピロー」～フィルムと包装機械～
大森機械工業(株) 上級執行役員管理本部長 一岡 幹朗 氏
- ④8月22日(水) TKPガーデンシティ PREMIUM 心斎橋 参加者77名
「機能性フィルム包装の最近の傾向」
住本技術士事務所 所長 住本 充弘 氏
- ⑤9月26日(水) TKPガーデンシティ PREMIUM 心斎橋 参加者44名
「空港内オペレーションにおいて発生する振動・衝撃イベント」
エクサーチ(株) 代表取締役 高木 雅広 氏
- ⑥10月17日(水) TKPガーデンシティ PREMIUM 心斎橋 参加者58名

「コンビニのもつ優位性と包装資材の関係について」

(株)精工 取締役営業企画本部長

大枝 麻由 氏

⑦12月12日(水) TKPガーデンシティ PREMIUM 心齋橋

参加者 61名

「変革期を迎えた食品用プラスチック器具容器包装の衛生対策」

ポリオレフィン等衛生協議会 専務理事

重倉 光彦 氏

⑧2月20日(水) TKPガーデンシティ PREMIUM 心齋橋

参加者 63名

「パックエキスポ・インターナショナル2018 視察」

(株)東洋紡パッケージング・プラン・サービス 技術総括部長

松田 修成 氏

(2) 生活者包装研究懇談会

①6月15日(金)

参加者 76名

見学会 (株)ヤクルト本社 兵庫三木工場 / 沢井製薬(株) 三田西工場

②9月19日(水) TKPガーデンシティ PREMIUM 心齋橋

参加者 64名

・「“使いやすい”を目指したライオンの容器開発」

ライオン(株) 容器・包装技術研究所

高津 衣世 氏

・「医療現場の立場から包装に思うこと」

医療法人秀和会 秀和総合病院 薬剤部長

日比 徹 氏

③11月28日(水) TKPガーデンシティ PREMIUM 心齋橋

参加者 55名

・「行動観察からみる高齢者のユニバーサルデザイン」

(一社)人間生活工学研究センター 事務局長

畠中 順子 氏

・「“開封強度”によるCR包装容器の考え方」

産業技術総合研究所 人工知能研究センターデジタルヒューマン研究チーム

多田 充徳 氏

④2月13日(水) TKPガーデンシティ PREMIUM 心齋橋

参加者 61名

・「国内外におけるプラスチック規制の最新動向～世界情勢から読み解く～」

双日プラネット(株) 包装資材本部 グリーンプロジェクト担当課長

大八木 潤 氏

・「医薬品包装へのカラーユニバーサルデザインの活用について」

NPO法人カラーユニバーサルデザイン機構 副理事長

伊賀 公一 氏

3) セミナー・コース

(1) 第25回包装基礎コース

5月16日(水)～18日(金) ハートンホテル北梅田

参加者 49名

「包装概論」 (公社)日本包装技術協会 理事・事務局長

園山 洋一

「板紙・紙器」 大日本印刷(株) 包装事業部技術開発本部

関西製品開発部第2課課長

辻本 隆亮 氏

「段ボール」 レンゴー(株) 包装技術部大阪包装技術第一課課長

杉田 裕紀 氏

「金属缶」 東洋製罐(株)資材・環境・品質保証本部品質保証部茨木品質課長

谷野 友哉 氏

「プラスチック容器」 東洋製罐(株) 資材・環境・品質保証本部品質保証部大阪品質課長

登坂 龍作 氏

「プラスチックフィルム」 ユニチカ(株) フィルム事業部フィルム品質保証部長

中野 功 氏

「ガラス容器」 日本山村硝子(株) ガラスびんカンパニー生産本部
 技術開発部 窯業設備チームリーダー 大野 太郎 氏
 「輸送包装技法」 シャープ(株) 品質・環境本部品質推進部参事 成本 裕一 氏
 「生活者包装技法」 凸版印刷(株) 生活・産業事業本部ビジネスイノベーションセンター
 開発本部第四開発部課長 三宅 英信 氏

(2) 第12回緩衝包装設計実践コース 参加者 14名

10月19日(金) 大阪産業技術研究所

「緩衝材についての基礎知識」「緩衝設計のための力学の基礎」「緩衝理論～緩衝設計とは～」
 (地独)大阪産業技術研究所 和泉センター製品信頼性研究部

生活科学・輸送包装研究室主任研究員 津田 和城 氏

「発泡プラスチック緩衝材の設計手順」「付属品と緩衝材のレイアウト検討」「グループ演習」
 「落下試験・衝撃値測定」「各種評価試験設備の見学」

シャープ(株) 品質・環境本部品質推進部参事 成本 裕一 氏

(3) 第45回段ボール包装設計実習コース 参加者 32名

1月24日(木)・2月4日(月) ハートンホテル北梅田

1月25日(金)・2月5日(火) アイロップ(株)

講義「製造工程、長所、種類、分類、印刷、形式、表示方法、包装設計 等」

レンゴー(株) 包装技術部 大阪包装技術第一課課長 杉田 裕紀 氏

実習「寸法の算出」「試作実習」「試作品の圧縮試験および落下試験」「講評と質疑応答」

アイロップ(株) 包装技術部部长 吉木 宏 氏

アイロップ(株) 包装技術部リーダー 脇田 明和 氏

<交流事業> (公益目的事業 1)

1) 会員フォーラム見学会

(1) ヤマトホールディングス(株) 関西ゲートウェイ 11月8日(木)・15日(木) 参加者 42名

(2) 独立行政法人 国立印刷局 彦根工場 3月14日(木) 参加者 36名

第2. 諸会議

- 1) 支部役員会 5月31日(木) ホテル日航大阪
- 2) 支部運営委員会 ① 6月6日(水) TKPガーデンシティ PREMIUM 心斎橋
 ② 12月12日(水) TKPガーデンシティ PREMIUM 心斎橋
 ③ 3月8日(金) TKPガーデンシティ PREMIUM 心斎橋
- 3) 生活者包装研究懇談会実行委員会 ① 8月1日(水) イマイビル
 ② 3月6日(水) イマイビル

第3. 行事・その他の活動

1) 支部定時総会 5月31日(木) ホテル日航大阪 参加者 127名

2) 第53期合格証書授与式および成績優秀者の表彰・祝賀会

	10月26日(金)	ハートンホテル北梅田	参加者 71名
3) 新春会員交流会	1月15日(火)	大阪倶楽部	参加者 144名
記念講演会 「笑い と 人生」			
落語家			桂 吉弥 氏

◎ 西日本支部

第1. 事業

1. 研修、育成、交流事業、普及啓発

<研修、育成事業> (公益目的事業 1)

1) 第53期包装管理士講座 (福岡会場)

6月20日(水)～22日(金) 7月10日(火)～13日(金) 九電電気ビル新館
受講者 40名 (輸送包装コース 19名、生活者包装コース 21名)

2) 研究会・講演会

(1) 輸送・生活者包装研究会 5月24日(木)

インペリアルパレス シティホテル福岡 参加者 34名

・「音で調べるおいしさ評価 ～食感測定～」

一般財団法人日本食品分析センター 名古屋支所 栄養科学部 油脂分析課 内村 太至 氏

・「コンテナ内の温湿度変化のメカニズムと対策」

株式会社MTI 営業グループ物流技術営業チーム 上席研究員 高橋 寿和 氏

(2) 総会説明会特別講演会 (生活者包装研究会 同日開催) 7月25日(水)

インペリアルパレス シティホテル福岡 参加者 20名

「売れている商品には理由があります」

イオン九州(株) 商品本部 顧問 立石 弘司 氏

(3) 輸送包装研究会 8月24日(金)

インペリアルパレス シティホテル福岡 参加者 20名

「世界の中での ASEAN 市場の位置づけと今後の方向」

～ASEAN でも成長の著しいプロパックベトナム 2018 の視察報告

(ベトナムの包装産業・ミャンマーの現状と包装産業) ～

(株)東洋紡パッケージング・プラン・サービス 教育情報部 主任 羽馬 友子 氏

(4) 2018 包装事例研究発表会 11月2日(金) 西鉄イン福岡ホテル 参加者 32名

発表 5件 全日本包装技術研究大会発表テーマ・第53期包装管理士優秀包装論文

<交流事業> (公益目的事業 1)

1) 見学会 (IPP 支部合同・福岡倉庫協会と共催)

(1) ニビシ醤油(株) 工場見学

4月20日(金) 参加者 20名

(2) TOTOアクアテクノ(株) 工場新設備導入見学コース

3月8日(金) 参加者 32名

第2. 諸会議

- 1) 第1回支部運営委員会 7月25日(水) インペリアルパレス シティホテル福岡
- 2) 第2回支部運営委員会 3月8日(金) TOTOアクアテクノ(株) 会議室

第3. 行事・その他の活動

- 1) 第53期包装管理士合格証書授与式
11月2日(金) 西鉄イン福岡ホテル 参加者 32名